



被災地の岩手県に向け出発するバキュームカー  
—19日午前8時55分、高山市清見町、中部縦貫自動車道

## バキュームカー出発

### 県環境整備協、岩手へ11台

東日本大震災による  
広域の断水により、被  
災地で避難所トイレの  
衛生問題が発生してい  
ることを受け、岐阜県  
環境整備事業協同組合  
加盟の清掃業者のバク  
्यूムカー11台が19  
日、被災地の岩手県へ  
出発した。20日に現地

入りし、避難所トイレ  
のし尿のくみ取り作業  
を行う。

全国環境整備事業協

同組合連合会から指示

があり、出動が決まっ

た。県内からは、今回の

先発隊が京都府、三重

県の組合と合流し岩手

県で、20日出発予定の

後発隊36台が宮城県で  
それぞれ活動を行う。

この日は、高山市内  
の中部縦貫自動車道飛  
騨清見インターチェン  
ジ付近にバキュームカ  
ーが集結、続々と出発

した。同組合の熊崎守  
男飛騨支部長は「トイ

レの衛生問題は被災者  
の心労にもつながる。  
一刻も早く問題を解決  
してあげたい」などと  
力強く語った。